

日本応用地質学会
岩盤分類再評価研究小委員会（第二期）

第 10 回議事録

平成 21 年 8 月 18 日

1. 日 時：平成 21 年 8 月 10 日(水)14:00～16:30

2. 場 所：応用地質学会事務局

3. 出席者：平野、伊東、都築、江口（敬称略）

計 4 名

4. 資 料：

- ・議事次第
- ・資料 10-1 第 9 回議事録（案）
- ・資料 10-2 技術書作成工程案（8 月 10 日時点修正版）
- ・資料 10-3 各担当執筆原稿案（8 月 10 日時点修正版）
 - 資料 10-3-1 技術書執筆分担表
 - 資料 10-3-2 第 2.1 章 岩盤分類の歴史
 - 資料 10-3-3 第 4 章 岩盤の工学的性質
 - 資料 10-3-4 第 5 章 岩盤分類のための調査・計測
 - 資料 10-3-5 第 6.5 章 トンネル
 - 資料 10-3-6 第 7.3.2 章 トンネル掘削残土の酸性水溶出に関する評価事例
 - 資料 10-3-7 第 7.3.3 章 蛇紋岩からなる岩盤の掘削とアスベスト問題
 - 資料 10-3-8 第 6.6 章 掘削のり面の岩盤分類
- ・資料 10-4 技術書において定義を設定すべき語句についての考え方

5. 議 事：

5-1 前回議事録の確認

第 3 章の表題について、「岩盤分類と地形・地質」とする議論があったという指摘があったため、追記することとした。

それ以外の内容については了承された。

5-2 技術書作成工程について

今回の小委員会までに修正が間に合わない原稿が多数あったため、工程案のとおり、全体工程を延長することとした。

次回委員会までの B ランク原稿（修正済）〆切については 9 月 30 日幹事必着とした

また、現在集まった技術書原稿全体の査読を委員長、幹事で実施し、8 月 31 日までに各委員に査読意見を連絡することとした。

5-3 技術書について

技術書の原稿について、議論を行った。議論の内容結果は以下の通り。

〈資料 9-3-1〉

- ・第 4 章では軟岩の記述を増やした上で、硬岩と軟岩の順番を入れ替える。
- ・5.3 章は 6 章の各論と重複する内容であるため、6 章における位置づけを確認し、総論的な記載にとどめる。
- ・7.3.3 章は分類されるアスベストの入っている蛇紋岩の特徴、分類の仕方について詳しく書くべきである。また、施工上の対応についても記載すべきである。
- ・用語の定義については、「本文内で統一すべき表現や語句、特別な定義を用いている用語」について 1.3 章に記載することとし、「若手向け読者に対し説明を要する必要がある語句」については各章においてコラムもしくは欄外へ記載することとする。
- ・「本文内で統一すべき表現や語句、特別な定義を用いている用語」、「若手向け読者に対し説明を要する必要がある語句」はそれぞれの執筆担当者がリストを作成し、幹事がとりまとめる。

5-4 著作権の許諾について

著作権の許諾が必要なものについて、各執筆担当者とリストを作成し、12 月予定の次々回委員会でとりまとめることとした。

なお、リストのひな形については幹事より配布することとした。

5-5 次回の開催および原稿案の提出について

次回の開催は 10 月上旬～中旬にかけてとし、後日幹事より日程調整の案内を行うこととする。なお、時間は 13:00～17:00 とし、場所は応用地質学会事務局とする。

前回委員会および今回委員会、8 月中に実施する委員長、幹事の全体査読の結果をふまえた修正原稿は 9 月 30 日までに幹事に提出することとする。

また、修正原稿は前回委員会と同様に、各委員で確認を行い、その確認結果を次回委員会に持ち込むこととする。

以 上